

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

痙縮に対するフェノールブロックの効果と副作用に関する後方視的調査

2. 研究の対象患者

上肢または下肢に痙縮の症状を有する患者さんのうち、2009年8月1日から2017年11月30日の間に当院リハビリテーション科外来でフェノールブロックを施行した方

3. 研究の対象期間

2009年8月1日～2017年11月30日

4. 研究の概要

痙縮（手足などの筋が反射的に緊張することで、動作や歩行の邪魔をしたり、痛みの原因になったりするような症状）の局所治療として、フェノールを用いての運動神経ブロック、ボツリヌス毒素の筋肉内注射、腱延長術や筋解離術等の整形外科的治療などが用いられる。それぞれの治療に一長一短があるが、高額な医療費自己負担を避けつつ簡便に治療を行う手段としてはフェノールブロックが唯一の選択肢である。しかし、フェノールブロックは運動神経と感覚神経を完全に分離して治療することが不可能なことから神経痛などの合併症を起こすリスクがあるため、合理的に治療効果の期待がリスクを上回る場合にのみ十分なインフォームド・コンセントのうえで、患者さんが強く希望する場合のみに施行している。本研究では、痙縮に対するフェノールブロックの効果と副作用について後方視的に調査することにより、得られる効果と注意すべき合併症の頻度等を明らかにすることを目的とする

5. 研究実施予定期間

2018年1月17日～2018年7月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者識別コード、生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、治療日、治療手技・標的神経名、標的筋名、合併症の経過

血液学的検査：RBC、Hb、WBC、好中球数、リンパ球数

血液生化学的検査：BS、HbA1c、LDL、HDL、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：リハビリテーション科 藤本 幹雄
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)